

気づいていますか？

この地球にいる75億人、

すべての人の“YES”は同じだということを。

YESの
メッセージ

国籍、言語、環境、文化、思想、宗教、

ライフスタイル……

私たちは、一人ひとりまったく違って見えるけれど、



幸せに生きたいという願い。

平和でありたいという願い。

私たち、75億人の願い“YES”は同じ。

そして、ここに生きていることも。



生きる目的が同じなら、
実はとても簡単はず。



いくら待っても平和が来なかったのは――
幸せになるのが遠かったのは――
目的がバラバラだったからじゃない。
世界がわかり合えない人たちの
集まりだからじゃない。

ただ、始めなかっただけ。

YESに歩くことを

自分のYESを口に出すことを。

YESから始めよう。

私の、あなたのYESを言おう。



私のYESは平和につながっている。
あなたのYESは希望につながっている。
私たちはみんな、YESでつながっている。

YESを言おう。

YESを始めよう。

世界は、

私たちは、

平和になることができる。

は　じ　め　に

愛の勝利を願う仲間たちへ。

この本は、愛や希望で溢れた平和を熱望する、あなたのために生まれました。愛が勝利する、新しい時代が始まることを伝えるために！

一人ひとりのつま先が、愛と希望の方向へ向いたとき、みんなが待ちわびた、愛に溢れた平和と呼ばれる世界は、5年で現実になります。

2019年は、世界が愛へ向かう兆しとなる出来事が起きます。

今一番必要なのは、あなたの意志です。

マザー・テレサも、マハトマ・ガンジーも、いつも世界を変える行動は、平和を願う一人の意志から始まりました。

愛の勝利にYESを。世界は平和になることができる。

2019年4月

自分のYESを、愛を 受け入れることから 始めよう

あーす・じぷしー
naho

— 新たな時代の始まりに —

2019年が幕を開け、新しい元号の時代がやってきました。2020年には東京オリンピックも開催されます。

「いい時代が始まるのかもしれない。今よりも、世界がよくなるのかもしれない」と、いい変化の訪れに期待を抱いている人はたくさんいると思います。

私も、**大きな始まりの扉が開いたの**を感じています。希望で黄金に輝く時代の始ま

りの門が開いたのです。

希望で黄金に輝く時代とは、人間が真の進化をして愛に向かって歩む時代です。一人ひとりが自分の内に愛という指針を見つけ、自分という役割で最大に輝くときです。

しかし、とても重要なことがあります。時代が変わったからといって、私たち一人ひとり、全員の人生が希望で黄金に輝くかといったら、そうではありません。

エスカレーター式に自動的に愛を体験し、輝く道へ運ばれるわけでは決していないのです。

まったく変化なく今までの人生を繰り返す人や、もっと苦しい時代が始まる人は少なくありません。

希望で黄金に輝く人生へ突入するためには——これはとても、とても、大切なことです。よく、聞いてください——**あなたの意志が必要なのです。**

あなたの「愛」や「希望」を選ぶ意志がなければ、あなたの人生も、この世界も、何も変わることはないのです。

今、私たちは以前よりも強い声で、



「さあ、今までいろいろなことがありました。では、あなたは何を望みますか？」
と、問いかけています。

—— 善い変化はあなたのYESから始まる ——

私は意志のことを「YES」と呼んでいます。YESは、一般的に使われる言葉の中で最も肯定的な言葉です。

宇宙の始まりの言葉「Om（オーム）」と同じ意味、エネルギーを持つYESです。あなたの存在そのものがYESであり、私たち一人ひとりの意志がYESです。すべての人が持つ究極の意志とは「平和でありたい」という願い、「幸せでありたい」という願い、「存在そのものの尊厳」という3つです。

まずはYES、すべてはあなたの意志から始まります。

この宇宙も、「存在したい」という意志からできました。いつでも現象が生まれるのは、意志からなのです。

平和や自分の持つ大きな希望へ歩く道は、人類の真の進化であり、あなたの待ち望

んだ人生なのです。

愛を受け入れるには、真の進化を受け入れる意志が必要です。

愛で生きると生活習慣が変わり、なじみのものが変わり、心地よいと思うものが変わり、意識が変わり、ふるまいが変わります。

大きな善い変化は、あなたが「YES」と言うことから始まります。

ひとつ覚えていてほしいことは、何度も、何度でも出発していいということ。

3歩歩いて2歩戻り、迷い、そのときにまた、YESへ進み出すしぶとさを持つてください。

どんなに困難な道でも、あきらめそうになっても、愛に進む道の上にいる人は、世界から、神から、祝福され、大応援されます。

そのくらい、愛の道を歩くことは、尊い行為なのです。

あなたのYESは何ですか？

さあ、待ちかねた人生を、世界を、始めよう。

愛の時代が始まる！

あーす・じぶしー
maho

2019年は大いなる分岐点

この本が発売されるのは、2019年5月。平成から次の元号へ変わった直後のタイミングです。

2019年から2020年は、個人の人生にも、世界にも、大転換期となるととても特別な期間だと感じています。

同じ意味合いの期間は、2012年にも訪れていました。

私が初めてひとり旅でペルーに行ったのは2012年12月後半、私の人生を大きく変えて今の生き方にシフトした分岐点でした。

「2012年中に出発しなければいけない」という大きな直感が何度もやってきて、なかば蹴飛ばされるように日本を旅立ちました。ペルーに着くと、すぐにお正月が始まったのを覚えています。

旅に出る前、私は学生でした。高校を卒業して服飾の専門学校に通ったのですが、もっと難しい技術を学びたくて、卒業後にもう一度学校に通い直していたところでした。

2度目の学校ということもあり、最終目的は就職です。その大ゴールに向かって、同期のクラスメイトたちと就職活動へ向かっていました。

しかし、2011年に起こった東日本大震災によって、私の意識は変化していました。

それまではなんともなかった違和感に気づき始め、この道しかないと思っていた道が、地震とともに揺れ、ヒビが入ったのです。

スピリチュアル系と呼ばれる人たちの間では「2012年は分岐点。アセンショ

ン（次元上昇）の年」といわれている年でもありました。

それも「かなり大きなことがある、ここを逃すと、次は少し先ですよ」という情報がたくさん入ってきていました。その情報とリンクするかのように、私自身も2本の道の前に立ち、どちらを選ぶかを決めるときに来っていたのです。「就職する人生」か「自由な人生」といった表面的なことではなく、もつと内的な分かれ道でした。「今までの延長にある道」か、「自分の運命を選ぶ道」か――。

私は後者を選びました。選んだことにより、人生は想像を超えて変化しました。まさかペルーで臨死体験をするとは想像もつかなかったし、こういう仕事をするとは思いませんでした。なほと一緒にいられるとも思いませんでした。

今まで出会うことのなかった友人たちとも出会い、生活は変わり、性格も変化しました。もしあの分岐点で、神さまから「このような未来になる」とハッキリ見せられたら、怖くて踏み出せなかったかもしれません。あまりにも当時立っていた地点と違いすぎて、どうやってそこへ行くのかわからず、「無理だ」と思ったことでしょう。

2019年は、そのような分岐点にきていると感じます。

「今未来を見せたって、今のあなたでは到底想像がつかないし、『うそだ!』と信じられないかもしれません。だから見せることはしませんが、そのような変化があるのです。信頼しなさい」

神さまから、そう言われている気がするのです。

個人の人生だけではなく、世界全体、地球全体の変化も含めてです。

私たちが想像できる範囲をはるかに超え、「うそだ!」と言ってしまいたくなるような結果が待っている道を、今選ぼうとしています。

それが、あまりにもひどい未来を見ての驚きなのか、あまりにも素晴らしい未来への驚きなのかは、私たちがどちらを歩くかで決まってきます。

でも、それはしごく当たり前のことで、東京から北海道へ行くために、南へ南へどれだけ歩いても、到着することはありません。目的地へと歩くとき、歩いた頑張りすべて目的地へと続きますが、逆方向へ歩いたときは、歩く分だけ目的地から遠くなるのです。真の目的に向かうことが、とても肝心なのです。

愛のまなざしで自分の人生を見直す

この2019年は、自分が持っている考え方、また今まで勉強してきたスピリチュアルや自己啓発、引き寄せや宇宙の法則、成功法則、何かのメソッド、また常識や誰かから習ったことを、少しわきにおきましょう。

今からの要は「愛」です。

愛を知りたいと求めてください。

愛は私たちの物差しや判断を超えています。

これから、自分が愛より優先してきたこと、愛よりも力があると思っていたことが、ハッキリとしてきます。こわれたり、なくなったり、うまくいかなかったり、充実感や心の満足感が得られなかったり、さまざまな方法で、「愛を選びなさい」というメッセージがやってくるのです。

愛は永遠でなくならないのに対して、愛ではないものは一時的で、なくなってしまう

う定めだからです。

私たちは「愛」以外のよりどころを持つことはできません。

愛ではないものに腰掛けていると思ったなら、今すぐ降りることです。

ずっと愛を大切にしているなら、それはとても素晴らしいことです。胸を張って、堂々と誇りに思しましょう。

誰かや社会の評価ではなく、自分自身が一番そのことを知っているのです。自分のどんな行動に誇りが持てるか、自分のどんな眼差しに誇りが持てるか、愛の行動は何か、愛で選んだことは何か、それは自分がいちばん知っています。

逆もそうです。誠実ではなかったこと、ごまかしていること、愛ではない選択をしていることは、自分がいちばんわかっているはずです。

誰かにほめられ評価されても、あなたが誠実で充実感があるかはまた別の問題です。誰にもほめられなくても、誠実であることはあなたの大きな財産です。誰かに対して誠実かではなく、**あなたの生きる態度が誠実かどうか**です。愛のまなざしで、自分の人生を点検してみてください。

私の人生の大転機は2度あって、ひとつはペルーへの旅、もうひとつはインドへの旅でした。それはどちらかひとつで完成するものではなく、ペルーとインド合わせてひとつの大きな魂の旅でした。

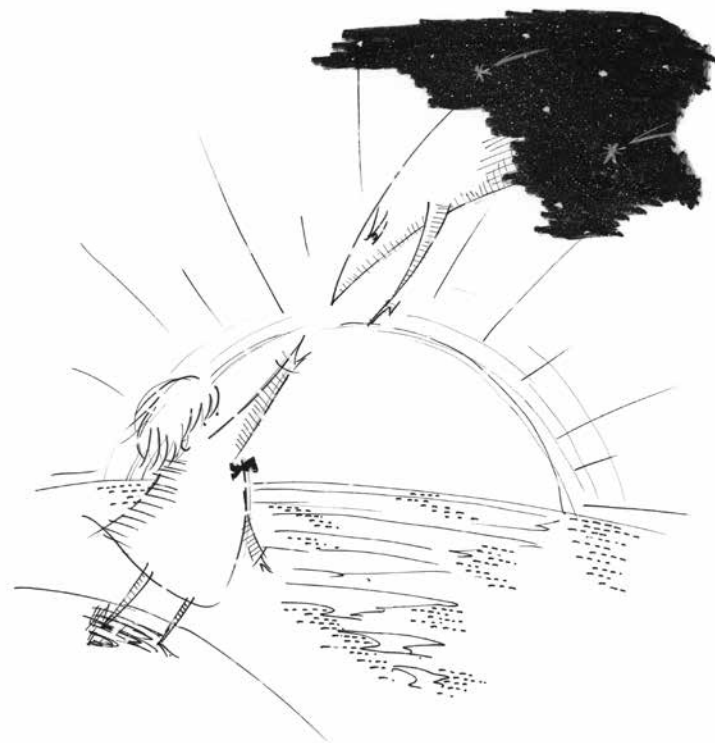
天国からの招待は突然やってくる

「インドは、呼ばれるときが来る」と旅人の間で言われていますが、まさに、私にもインドからのお誘い^レがやってきました。

インドは、現代では風化してしまった^レ愛、普遍の真理、智慧^レが聖者や聖典、ヨガなどによって残されている場所です。

インドからの招待、もとい、愛からの招待は突然やってきます。それは未知への招待であると同時に、なつかしい、ずっと探していた本当の居場所へ帰っておいでという呼びかけです。

ここからは、私の「インドからの招待」の話です。私が本当に愛を受け入れ、信じる



ために、私にはたくさんの時間とたくさんの疑い、たくさん葛藤と苦難が必要でした。そしてそれは今も続いています。

インドの神さまやお釈迦さまが手のひらをこちらへ向けているのはどういう意味か知っていますか？

「恐れるなかれ」

そう。愛を、幸福を、恐れるなかれ――。

神に出会うというのは、私たちが自分の正体に出会うということです。

そして愛を知っている人生が始まります。

この話が、あなたへの「愛への招待」となりますように。

それでは「インドからの招待」、始まり始まり。

ダルシャンでインドの聖者に会う

ある男性から、私は、あるインドの聖者に会う機会をいただいた。インドではそう